

不定詞で話す・書く (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 不定詞を使って、やりたいことと必要なことを3文以上で話し、まとまりのある英文で書ける

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

I want to work with animals in the future.

将来は動物と関わる仕事がしたい。

To reach that goal, I need to study biology and English.

そのために、生物と英語を勉強する必要がある。

It is not easy for a high school student like me to decide everything now, but I want to start with something small.

高校生が今すべてを決めるのは簡単ではないけれど、小さなことから始めたい。

型で書く 型で書く—自分のことを3文 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、to のうしろが動詞の原形になっているかだけを見合おう。

(1) I want to _____ in the future. 将来やりたいこと

(2) To _____, I need to _____. そのために必要なこと

(3) It is _____ for me to _____. 自分にとって難しい／楽しいこと

ペアで話す ペアで話す—「これから」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Really? Why? を1回は返す。会話の最初に To be honest, ... (正直に言うと) や To tell the truth, ... を置ける—これも不定詞で、**文全体にかかるので主語が要らない**。今日は1回ずつ使ってみよう。

(1) What do you want to try before you graduate?

卒業までにやりたいことは?

(2) Why do you study English?

なぜ英語を勉強しているの?

(3) What is something you need to do this week?

今週やらなければならないことは?

(4) Is it easy or hard for you to get up early? Why?

早起きは簡単? 難しい? それはなぜ?

あいづち・返しの型:

Really? Why?

Same here.

Sounds tough.

That's a good reason.

Tell me more.

不定詞で話す・書く (標準) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 自分の番—60語前後で書く 思考・判断・表現

What do you want to do after you graduate, and what do you need to do to get there? (卒業したら何をしたいか、そのために何が必要か)

①やりたいこと ②そのために必要なこと ③今できる一歩—の3段で、60語前後。不定詞を3文以上で使う。

評価 先生はここを見ます (加点式)

不定詞を3文以上、正しい形で使えている (to のうしろが原形)	+4点
「やりたいこと→必要なこと→今できる一歩」の流れがある	+3点
自分にしか書けない具体がある (固有の場面・理由)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ